

## キャリア・アドバイザー通信

今回のキャリア・アドバイザー通信は、本格的な就職活動シーズンに向けて文系学生における「これからの就職活動」というテーマでご紹介いたします。

### 1. なぜ就職は厳しい？

2012年春入社の大卒採用内定者数は、昨春実績比22%増と4年ぶりに増加<sup>(注1)</sup>しました。しかし水準は、リーマンショック前の2008年度を100とすると12年度は67にとどまり、新卒採用数の水準はまだまだ低く、就職環境の好転が続くかどうかは不透明な状況です。官・民ともに人件費抑制が続く、大手企業の多くは全社員数の1〜2%しか新規採用(採用数は数十人規模)せず、なおかつ質の高い即戦力人材を求める傾向が強まっています。

2013年春入社の新卒採用活動のスケジュールは、例年と大幅に変わり、これまでの10月1日から学生の登録受け付け・会社説明会実施から、2ヶ月遅れて12月1日からになりました。就職活動の早期化や



キャリアプラン入門・実践でアドバイスを4年先輩サポーター 2011.11.10

長期化が学業に影響を与えるという声を受けて、経団連が倫理憲章を見直したためです。そこで、10月からはSNS(ソーシャル・ネットワーク)キング・サービスを活用した「ソート」など新たな動きも見られるようになりまし。しかし、企業が広報活動を遅らせてもその後予定されている採用試験、内定式の日程は変わらずより短期間で同様の成果が求められることを理解しておく必要があります。

民間企業を希望する文系学生の場、採用試験の早い企業では3月下旬、大手・中堅企業を中心に4年次4〜6月で内々定を通知して採用活動を終了します。限られた期間で、5〜200社のウェブエントリー、20〜40社の企業説明会の参加<sup>(注2)</sup>の後、応募書類の作成・筆記・面接試験、集団討論、そしてプレゼンテーションと企業のレベル・内容に応じて対策を講じてクリアしなければならず、これまで習得した知識・経験、体力、精神力をフル活用する人生一大事業ともいえます。

### 2. 就職につなげるための3つの柱

「キャリア教育」「就職支援」「キャリア支援」

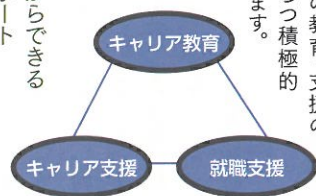
本学の方針として、入学から卒業までを一貫したキャリア・就職に関する教育・支援を行っています。わたしたちは、キャリアを「一人ひとりの自立した人間としての仕事を含めた人生のあり方」と考えています。学生生活は、卒業後のよりよい人生を選択するための準備期間ととらえ、充実した学生生活を送ることができるよう支援します。まずは、



キャリアプラン実践(就職対策編)集中合宿in 国立夜須高原青少年自然の家 2011.01.09

①大学教育としての「キャリア教育科目」の推進<sup>(注3)</sup> ②在学中にプラスアルファの知識・スキルを習得するための資格取得講座(課外講座・インターンシップ(就業体験)等の「キャリア支援」)として、③学生の成果を内定につなげるための「就職支援」と3つの教育・支援の連携を図りつつ積極的

### 3. 家族だからできる就職サポート



これまで就職に関して「親がでる幕ではない」「子どもに任せているから」と、あえて学生と距離を置かれるご家族も少なくありませんでした。しかし、難しい就職を乗り越えるには家族だからこそ支えられることもあり。事実、有名企業または複数企業から内定を獲得する学生ほど、家族・同級生・OB・大学(教職員)など必要に応じたネットワークを有効に活用しています。特に3年次のご家族の方々は、

①就職・大学院進学への選択(院進学 学費等の負担、院修了後の進路) ②就職の場合、公務員・民間企業・自営の選択 ③公務員の場合、希望する職種、民間の場合、希望する業種、職種の選択 ④Uターン(実家からの勤務)・Iターン(実家以外からの勤務)の検討など、活動前の早い段階から一度ご確認ください。これらの合意を得ることで学生自身の悩みや迷いが軽減され、積極的な活動によって成果へつなげることが出来ます。また、1〜2年次のご家族においても社会人、人生の先輩として話し合うことで、将来の目標が明確になり、学生生活がより充実したものになるのではないのでしょうか。

また、ご家族が支援できることとして ①体調管理 ②精神的サポート ③遠方での活動費等の経済的サポート(状況に応じて) ④ビジネスマナー ⑤面接の練習など厳しい活動を継続していくなかでより身近な人たちのちょっとしたアドバイスや支援が学生にとっては大きな励みとなり原動力になるかもしれません。

最後になりますが、就職はこれまでの人生の集大成ともいえます。3年次の就職活動の時期になってはじめて検討して対策を講じるという



特別プログラム 東京企業訪問 2泊3日 in味の素 2011.09.08

- (注1) 日本経済新聞社(2011・10)2012年度採用状況調査
- (注2) 久留米大学(2011・10)2012年度聞き取り調査
- (注3) 2011年度共通教育科目のキャリア科目

キャリアプラン入門	1年次後期	基礎1	自己目標の実現のために 大学で何を学び大学生生活をどのように学ぶかを考える
キャリアプラン応用	2年次前期	基礎2	考えを行動にうつす キャリア形成のために必要な知識や考え方を具体的に学ぶ
キャリアプラン実践	2年次後期	基礎3	社会人基礎力を身につける 社会で求められる能力を養う
ディベート	2年次前期	応用1	経験を重ね能力を高める リーダーシップ、コミュニケーション能力を身につける
インターンシップ	2年次通年	応用2	現場に触れ見つけ直す 学生の専攻、将来のキャリアに関連した就業体験をする
企画・プレゼントレーニング	3年次前期	応用3	身につけたものを総合する 手法を用いて企画書を作成、目的に応じてプレゼンする
キャリアプラン実践(就職対策編) ※2012年度〜「キャリアプランPBL」へ科目名変更	3年次後期	応用4	自由自在に発揮する 就職活動に向けて具体的な対策を行う

よりも、大学1年から意識して行動することが重要といえます。学生一人ひとりがよりよいキャリアを選択できるように、大学としても教育・支援に取り組む所存ですが、ご家庭においても今一度ご配慮いただければ大変幸いです。  
(特命講師  
キャリア・アドバイザー 酒井佳世)